

平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：男女共同参画課

担当名：DV対策担当

内線：2925

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B19	ドメスティック・バイオレンス総合対策事業費			一般会計	総務費	県民費	男女共同参画推進費	ドメスティック・バイオレンス総合対策事業費	
事業期間	平成13年度～	根拠法令	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律		戦略項目	11	女性がいきいきと輝く社会の構築		
					分野施策	050303	人権の尊重		
1 事業概要 ドメスティック・バイオレンスなどの、女性に対する暴力の根絶と被害者への支援を行う。				5 事業説明					
(1) 啓発・情報提供 1,143千円 国庫委託金の内示差による事業費の減				(1) 事業内容					
(2) 若年者DV予防 202千円 国庫委託金の内示差による事業費の減				ア 相談機能の充実 1,471千円 DV相談室経費、スーパーバイザー設置費、外国人被害者支援					
(3) 加害者対策 11千円 国庫委託金の内示差による事業費の減				イ 保護機能の充実 333千円 保育・学習ボランティア、緊急移送費					
(4) 相談担当者研修 117千円 国庫委託金の内示差による事業費の減				ウ 関係機関ネットワーク化 542千円 DV対策関係機関連携会議、市町村説明会等					
(5) 民間団体育成 800千円 国庫委託金の内示差による事業費の減				エ 啓発・情報提供 2,981千円 啓発パンフレット・リーフレットの作成、DV防止フォーラム DV防止出前講座					
2 事業主体及び負担区分 (国10/10)				オ 若年者DV予防 470千円 デートDV防止講座、DV防止教育指導者研修会					
3 地方財政措置の状況 なし				カ 加害者対策 78千円					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.3人=31,350千円				キ 相談担当者研修 621千円					
				ク 民間団体育成 3,700千円 民間団体活動事業費補助金					
				(2) 事業計画 第3次DV防止基本計画に基づき、上記事業を推進していく。					
				(3) 事業効果 啓発、研修、民間団体育成、関係機関ネットワーク化により、DVに対する認知度が高まり、相談・支援体制が充実する。					
				(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 DV被害者を支援している団体及びDV防止啓発をしている団体と連携して、各種講座等を実施している。					
				(5) 補正予算の概要 (1) 啓発・情報提供：国庫委託金の内示差による減額 (2) 若年者DV予防：国庫委託金の内示差による事業費の減額 (3) 加害者対策：国庫委託金の内示差による事業費の減額 (4) 相談担当者研修：国庫委託金の内示差による事業費の減額 (5) 民間団体育成：国庫委託金の内示差による事業費の減額					
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金							
決定額	2,273	2,273						7,923	
現計額	10,196	5,367					4,829		